



# ひずみ計測ミニチュアクリープ試験

ミニチュアクリープ試験についてクリープひずみ挙動を取得できます。

## 技術の概要

ミニチュアクリープ試験は、サンプル採取寸法が制約された構造物のクリープ寿命を測定するもので、高温機器の余寿命評価などに有効な手法とされています。ミニチュアクリープ試験片に直接計測機を取付けることは困難ですが、専用の治具等を用いることにより、クリープ試験中のひずみ挙動を取得することができます。ひずみ挙動の取得により、試験途中段階でのクリープ寿命の推定(Monkman-Grant法、 $\Omega$ 法等の適用)や、クリープ変形特性の把握に活用できます。

## ミニチュアクリープ試験装置

- 試験片寸法(標準サイズ): 全長20mm×全幅4.5mm×板厚0.5~2mm  
※標準サイズ以外も検討いたします。
- 温度: 最高1050°C
- 試験荷重: 40N~30kN ※100N未満は要相談
- 雰囲気: 大気、Arガス(酸化スケール抑制用※)  
※連続送入手。酸化スケールを完全に防ぐものではありません。

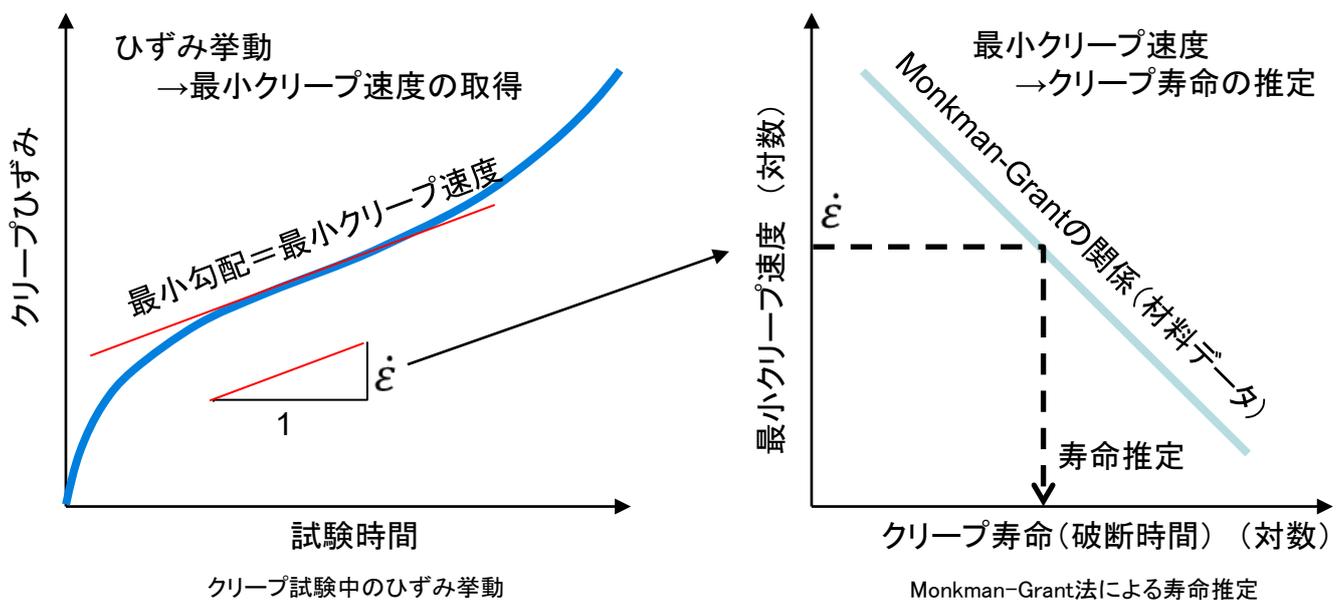


ミニチュアクリープ試験片



Ar雰囲気クリープ試験装置

## ひずみ挙動を利用したクリープ寿命推定の例



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

☎ 0120-643-777

Copyright ©2024 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。